

篠山市 公立小中学校等施設の耐震診断結果を公表します。

資料公表日

平成 25 年 5 月 1 日

兵 庫 県 篠 山 市

担当課 篠山市教育委員会 学事課

公表内容

学校は、子どもたちの学習の場であるとともに、その多くが災害時には地域住民の避難場所になるなど、大切な役割を担っています。

篠山市では建築基準法の改正(昭和 56 年 6 月)前の基準で建築された校舎等について、平成 16 年度から耐震診断を実施し、耐震補強が必要と認められた校舎等の補強を行っています。

この度、平成 20 年 6 月 18 日に地震防災対策特別措置法が改正され、公立の幼稚園、小・中学校等の校舎等について耐震診断の実施とともに、耐震診断を実施した建物ごとにその結果の公表が義務付けられました。

そこで、市民の皆様と情報を共有し、小中学校施設等の耐震化を進めていくために、これまで実施してきた耐震診断結果を公表いたします。

対象となる建物・・・「非木造の校舎等で 2 階以上又は延床面積が 200 平方メートル超えるもの」

「木造の校舎等で 3 階以上又は延床面積が 500 平方メートル超えるもの」

耐震診断結果

耐震診断の結果については、[平成 25 年 4 月 1 日現在]のとおりです。

耐震診断結果の見方

建物区分 ・ 構造

校：校舎

R：鉄筋コンクリート造

屋：屋内運動場 (体育館)

S：鉄骨造

園：園舎

W：木造

構造耐震指標

Is 値=非木造(鉄筋コンクリート造・鉄骨造)

Iw 値=木造

構造耐震指標とは、第1次診断または第2次診断の結果、建物の粘り強さに形状や経年等を考慮して算出されるその最小値を表記しています。

なお、表中の(Is 値)は、公的機関(評価委員会)による評価判定結果に基づく確定値を表記しています。

Is 値の目安

Is 値 0.3 未満	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性が高い
Is 値 0.3 以上 0.6 未満	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性がある
Is 値 0.6 以上	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性が低い

Iw 値の目安

Iw 値 0.7 未満	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性が高い
Iw 値 0.7 以上 1.0 未満	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性がある
Iw 値 1.0 以上	大規模な地震の振動及び衝撃に対して倒壊又は崩壊する危険性が低い

大規模な地震とは、震度6強から震度7程度の地震を想定しています。

文部科学省では、非木造の場合、補強後のIs 値は、おおむね0.7を超えること、また、木造の場合においては、Iw 値は、おおむね1.1を超えることとしています。

耐震診断の種類

第1次診断

鉄筋コンクリート建築の柱や壁の断面形状、鉄筋量の詳細、材料強度から算定する簡易な診断方法

第2次診断

耐震補強内容を検討し、補強設計を行うための詳細な診断方法

今後の耐震化の取り組み

平成27年度までに市立小中学校施設等の耐震診断の結果、非木造でIs 値0.7以下、木造でIw 値1.1以下の校舎等について、それぞれの数値を越えるよう耐震補強工事を計画的に実施します。